

さとふる、ふるさと納税の利用実態に関するアンケート調査を実施

～コロナ禍で寄付者の5割以上が「地域貢献」「地域応援」を意識～

さとふるとふるさと納税ポータルサイト「さとふる」(<https://www.satofull.jp/>)を運営する株式会社さとふる(本社：東京都中央区、代表取締役社長：藤井 宏明)は、さとふるとふるさと納税で寄付をしたことがある男女計6,295人を対象に、さとふるとふるさと納税の利用実態に関するアンケート調査を2021年2月18日～2月24日に実施しました。

調査結果の概要は以下のとおりです。

1. 回答者の5割以上がさとふるとふるさと納税での「地域貢献」「地域応援」を意識 (p2: Q1, Q2)

- 2020年のさとふるとふるさと納税はこれまで以上に「地域貢献」「地域応援」などを意識したかを尋ねたところ、5割以上の回答者が「そう思う (14.6%)」「どちらかというと思う (38.1%)」と回答。さとふるとふるさと納税で地域を応援するという意識の変化が見られます。
- 「地域貢献」「地域応援」などを意識した理由としては「新型コロナウイルスの影響が地域経済にも表れていると思うから (40.8%)」や「新型コロナウイルスの影響で地域に足を運べず、直接的に地域経済に貢献しにくかったから (32.1%)」などが挙げられました。

2. 回答者の1.5割が寄付を通じた「応援消費」によってコロナ禍の生産者や事業者を支援 (p3: Q3～Q5)

- 回答者の1.5割が新型コロナウイルスの影響で登場した「緊急支援品」「コロナ支援品」や農水省補助事業「#元気いただきますプロジェクト」を活用したお礼品など「応援消費」につながるお礼品を申し込んだと回答。
- 理由としては「生産者やお礼品事業者を応援したいと思ったから (70.2%)」や「地域を応援したいと思ったから (52.5%)」などが挙げられ、さとふるとふるさと納税で生産者や事業者を支援する動きが見受けられました。具体的に支援したお礼品のジャンルは「肉 (52.0%)」や「魚介・海産物 (45.1%)」、「果物・フルーツ (24.8%)」が上位に入りました。

3. 回答者の5人に1人が「お礼品を伴わない寄付をしたことがある」と回答 (p4: Q6, Q7)

- 災害支援・新型コロナウイルス対策関連支援を含むお礼品を伴わない寄付について、回答者の5人に1人 (21.6%) が寄付をしたことがあると回答しました。
- 約4割の回答者がお礼品を伴わない寄付を「申し込んでみたいと思う (8.8%)」「まあまあ申し込んでみたいと思う (28.9%)」と回答し、さらなる寄付率の上昇が期待されます。

4. クラウドファンディング型さとふるとふるさと納税経験者の4割以上が2020年に初めて寄付をしたと回答 (p4,5: Q8～Q10)

- 具体的な寄付金の使い道から選ぶクラウドファンディング型さとふるとふるさと納税について、回答者の4割が「したいと思う (6.5%)」「まあまあしたいと思う (33.7%)」と回答したものの、実際に寄付経験がある人は5.8%と昨年に引き続き1割未満となりました。
- 寄付経験がある人に初めてクラウドファンディング型さとふるとふるさと納税を行った年について尋ねたところ、4割以上が「2020年」と回答し利用意向の高まりが伺えます。

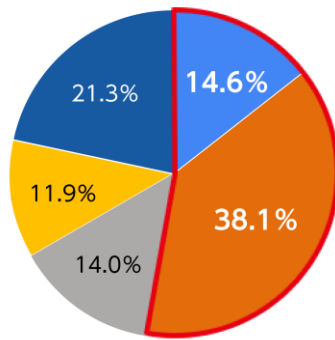
アンケート結果の詳細は、こちら (https://www.satofull.jp/static/research/2021_customer_research.hp) をご覧ください。

株式会社さとふるは、今後も地域の生産者や自治体の声を聞き、地域に寄り添いながら、さまざまな取り組みを通じて地域の課題解決や地域活性化を推進します。

■調査内容の詳細

Q1. 2020年のふるさと納税は、これまで以上に「地域貢献」「地域応援」などを意識しましたか？

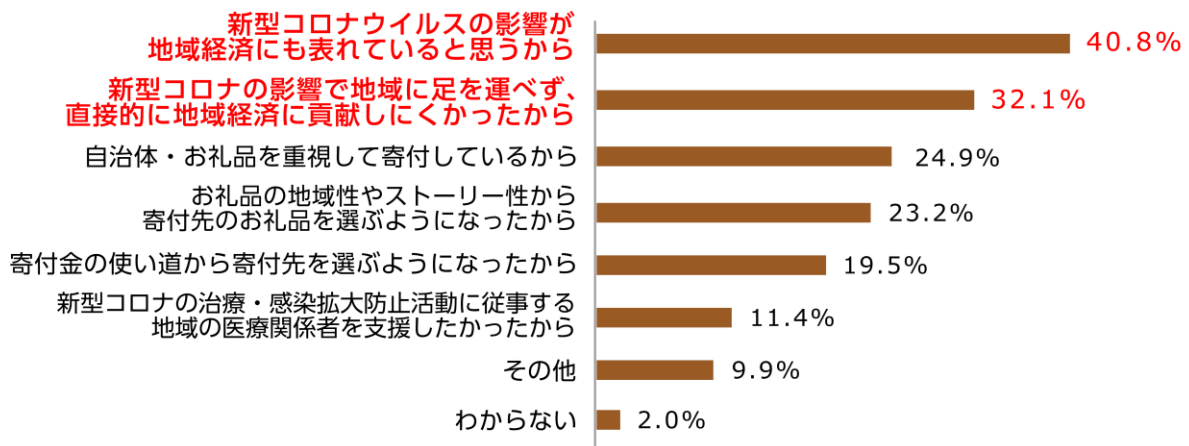
5割以上が
「地域貢献」「地域応援」を
意識したと回答



- そう思う
- どちらかというと思う
- どちらかというと思わない
- そう思わない
- わからない・これまでと変わらない

N=ふるさと納税経験のある6,295人

Q2. (Q1で「そう思う」「どちらかというと思う」と回答した方へ) 回答理由を教えてください。(複数回答可)



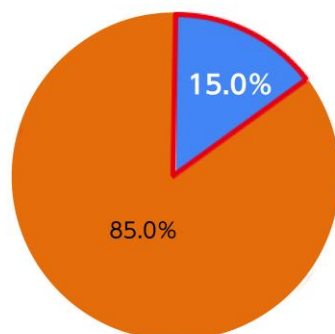
<「その他」回答例>

- ・新型コロナが東日本大震災の復興に影響が出ないよう、東北に寄付した (40代女性/秋田県在住)
- ・九州なので水害の被災地を応援した (50代女性/福岡県在住)
- ・水害などの被災地を応援したかったから (50代男性/長野県在住)
- ・台風などで被災した地域を応援したいから (60代女性/石川県在住)
- ・災害支援のつもりで多数の自治体に寄付したから (40代男性/静岡県在住)
- ・大雪に苦悩している自治体を応援したいから (50代男性/神奈川県在住)

N=Q1で「そう思う」「どちらかというと思う」と回答した3,318人

Q3. 新型コロナウイルスの影響で登場した「緊急支援品」「コロナ支援品」や農水省補助事業「#元気いただきますプロジェクト」を活用したお礼品など、応援消費につながるお礼品を申し込んだことはありますか？

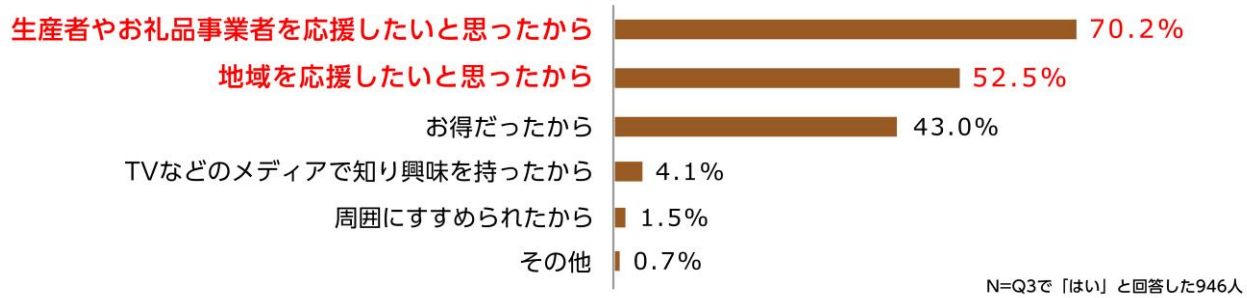
「応援消費」につながる
お礼品への寄付経験が
あるのは
回答者の**1.5割**



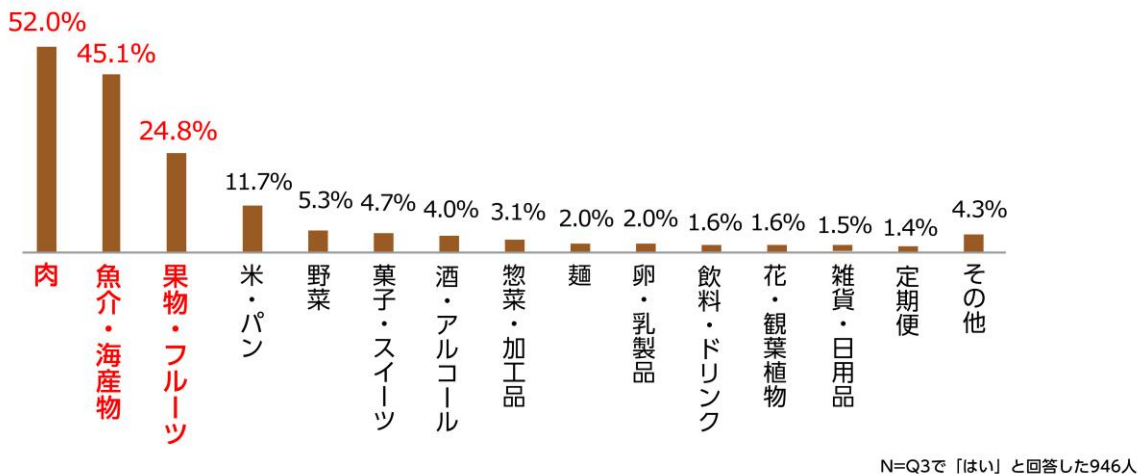
- はい
- いいえ

N=ふるさと納税経験のある6,295人

Q4. (Q3で「はい」と回答した方へ) 応援消費につながるお礼品を申し込んだ理由を教えてください。(複数回答可)

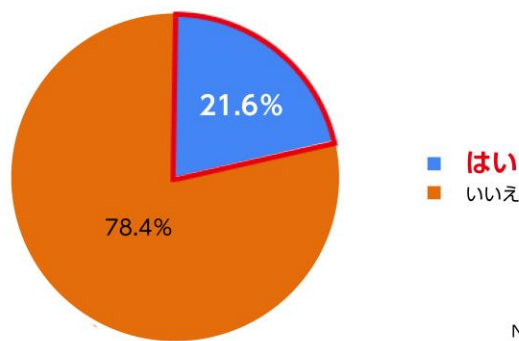


Q5. (Q3で「はい」と回答した方へ) 実際に選んだお礼品のジャンルを教えてください。(複数回答可)



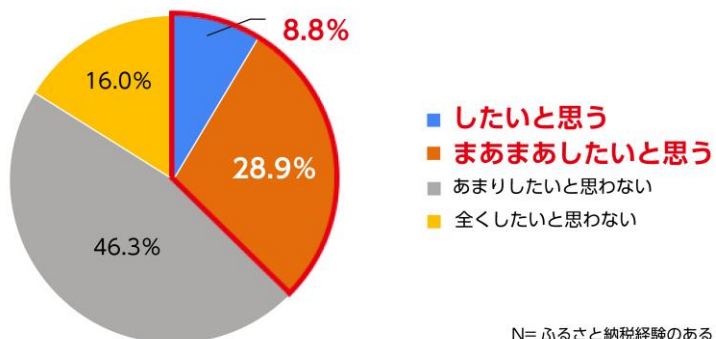
Q6. これまでにお礼品を伴わない寄付(災害支援・新型コロナウイルス対策関連支援を含む)をしたことはありますか?

5人に1人が
お礼品を伴わない
寄付をしたことが
あると回答



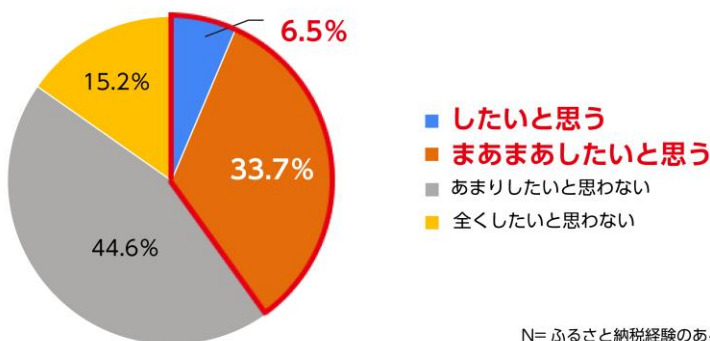
Q7. お礼品を伴わない寄付(災害支援・新型コロナウイルス対策関連支援を含む)について、申し込みたいと思いますか?

約4割が
お礼品を伴わない
寄付について寄付意向が
あると回答



Q8. 具体的な寄付金の使い道から選ぶクラウドファンディング型のふるさと納税について、寄付したいと思えますか？

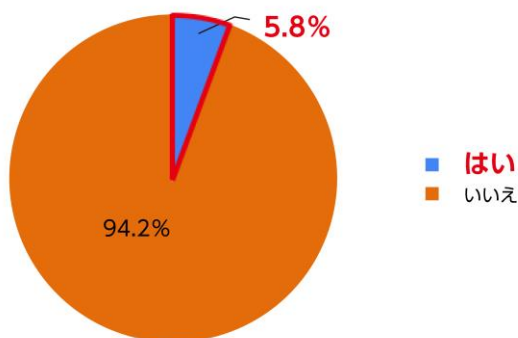
4割がクラウドファンディング型ふるさと納税の寄付意向があると回答



N= ふるさと納税経験のある 6,295 人

Q9. これまでにクラウドファンディング型ふるさと納税の寄付をしたことはありますか？

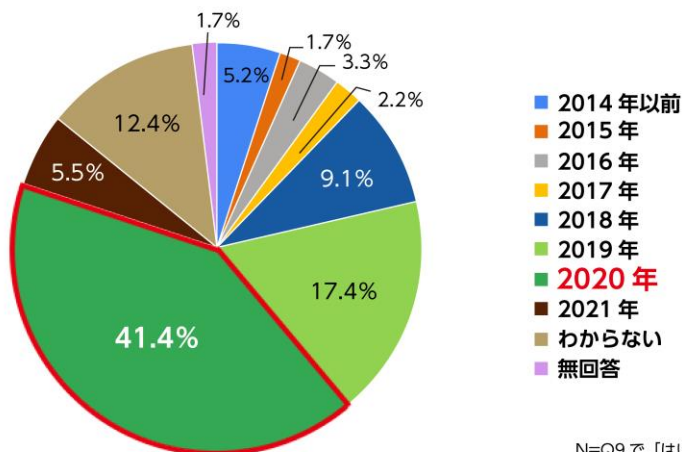
クラウドファンディング型ふるさと納税の寄付経験があるのは回答者の**1割未満**



N= ふるさと納税経験のある 6,295 人

Q10. (Q9で「はい」と回答した方へ) 初めてクラウドファンディング型ふるさと納税の寄付をしたのはいつですか？

回答者の**4割以上**が2020年に初めてクラウドファンディング型ふるさと納税の寄付をしたと回答



N=Q9で「はい」と回答した 362 人

※円グラフは小数点第二位を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。

■調査概要

実施期間：2021年2月18日～2021年2月24日

手 法：インターネット調査

実施機関：株式会社さとふる

対 象：ふるさと納税経験のある 6,295 人

※「さとふる」を利用したことがない人を含む

■株式会社さとふるについて

株式会社さとふるは、ふるさと納税（自治体への寄付）を通して地域活性化を推進しています。「ふるさとの元気を“フル”にする、ふるさとの魅力が“フル”に集まる ふるさと応援、ふるさと納税ポータルサイト」をコンセプトに、寄付者向けに「さとふる」で寄付先の自治体やお礼品の選定、寄付の申し込み、寄付金の支払いなどができるサービスを提供しています。また、自治体向けには寄付の募集や申し込み受け付け、寄付金の収納、お礼品の在庫管理や配送など、ふるさと納税の運営に必要な業務を一括代行するサービスを提供しています。

■地域情報サイト「ふるさとこづち」について

「ふるさとこづち」(<https://www.satofull.jp/koduchi/>)は、「さとふる」がお届けする地域情報サイトです。ふるさと納税を活用した地域活性化の取り組みや、ふるさと納税に関する最新動向などを掲載しています。

以上

- この報道発表資料に記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。
- この報道発表資料に記載されている内容、製品、仕様、問い合わせ先およびその他の情報は、発表日時点のもので、これらの情報は予告なしに変更される場合があります。

【本件に関する問い合わせ先】

お客さまから…さとふるサポートセンター E-mail : ask@satofull.co.jp

Tel : 0570-048-325 受付時間 : 午前 10 時～午後 5 時（土・日曜日、祝日、年末年始を除く）